

自己実現への道

第 69 回 — 第 4 章 天才とは真剣に夢を見る人」(その 8) —

★信念は頭の中に貯えられた創造力を開放する

信念に満ちた生活は、我々を創造性のある人間に変化させてくれる。これは素晴らしいことである。

信念の道を歩み始めると、罪、恐怖、不安など、もろもろの緊張から開放され、心身ともに健全な人間になる。

信念が深まれば、ストレスは一気に弱まり、こうして得られた心の平安が、創造力を発揮するための舞台を整えてくれるのだ。

創造的なアイデアは心豊かにくつろいでいるときに生まれる。庭園に降り立ったときに人間の創造性が冴えるのは**自然の声と眺めが人の魂を落ち着かせてくれる**からである。**静けさは創造力の基調**である。

★人生を拓くカギ、閉じるカギ

多くの人が悪魔の手先である三悪に侵されて人生をしくじる。三悪とは**気難しさ**、**冷淡**、**臆病**の 3 つである。

気難しさ—生活が辛辣、考えが消極的で心に棘がある。

冷淡—心が冷たく、人をひきつける暖かい愛情にかけ、生活の中に愛が失われている。

臆病—行動の前に安全の保障を要求し、実行に移す前に問題が解決していなければならないと主張する。

しかし、信念を持って心をコントロールできる人々は、暖かい思いやりで心の棘を和らげ、優しい態度で冷たい心を開放し、臆病を追い払って、大胆な心を育てることができる。日々、信念と共に前進しよう。少なくとも一歩前進しよう。**進歩を願う者は、まず先進のスタートを切る**ことである。前進すれば様々な機会が待っている。

「心を明るくし、人々に親切に」—これは人生を拓くカギである。しかし、より重要なキーは

「信念を持って踏み出す(始める)ことだ」たとえどんな困難があっても、**信念はすべてを征服する**。見えざる力を信頼すれば、得る成果はより早く確実になる。

★「私は今、心躍る飛行軌道にのっている」

信念は積極性を刺激し、疑いは消極性を培養する。疑心は心を麻痺させ、懷疑は精神を消耗させる。信念を持たない人は自分自身の恐怖心を恐れ、自らの悩みを悩む、自虐的な人間になる。

なんと絶望的な輪廻であろうか。

しかし、**信念の人はこの轍を踏むことはない。積極思考があらゆる可能性を追求する人間を育て上げるのだ。**

私はもう実行することを発表した。私は熱中している。私はひとつのプロジェクトを追っている。私は消極人間の轍を踏む愚を犯さない。私は道を歩いている。冒険はもう始まっている。秒読みがスタートした。いよいよ打ち上げだ。さあ、空高く舞い上がり、ダイナミックに活動開始だ。

見えざる力が私を励まし、前へ前へと引っ張ってくれる。**心躍る飛行軌道にのっているのだ。**

ユーモアが私の生活の中に蘇り、朝になると喜びが私を包んでくれる。鳥の声が聞こえ、祝福に満たされる。

信念は、積極性と歓喜に関連している。信念と喜びの人生へと飛躍しよう。

〈MIKO〉

📖 参考文献：Tough Minded Faith For Tender Hearted People by Robert H Schuller より